

令和2年度（2020年度）
つくば市行政経営懇談会提言

つくば市市民参加推進に関する取組の
課題と対策について

① 無作為抽出による委員等候補者名簿の活用を推進する

- 市民委員（つくば市の会議に公募などで参加する市民）を選ぶときは、会議の内容などを踏まえた上で、積極的に「無作為抽出による委員等候補者名簿」を使うこと。
- 無作為抽出により対象となった市民に名簿への登録を依頼する文書は、受け取った市民がつくば市政への参加を前向きに考えられるような文面とすること。
- 名簿に登録する同意書には、「全ての分野に関心がある」や「どの分野でもいい」など、様々な分野に興味があるという希望を示せるような選択肢を追加すること。
- ジェンダー（社会的・文化的につくられる性別）や年齢、お住まいの地域などを考え、会議の目的などに沿った市民委員を選ぶこと。

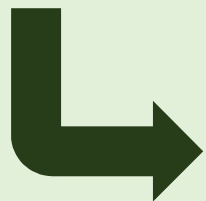
- つくば市では、これまで市と接点の少なかった方が市政に参加するきっかけをつくり、多様な意見を受けることを目的として、「無作為抽出による委員等候補者名簿」を作成しています。
- 本名簿はつくば市に住民票を登録している市民のうちから無作為に選んだ1,000名に対し、「市の会議の市民委員候補として登録をお願いできませんか」という文書を送付し、登録に同意いただいた方の氏名や連絡先などを登録したものです。

※つくば市の市民委員は「公募」または「無作為抽出による委員等候補者名簿」によって選ばれます。

② 若い世代の参加者の拡大に向けて

- 情報発信の手段として、積極的にSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を活用するなど、様々な方法で広報活動に取り組むこと。
- 働いている人も参加しやすくなるような広報などの周知活動に取り組むこと。
- 会議の開催方法のひとつに、オンライン会議や、オンラインと直接対面とを組み合わせたハイブリッド会議も取り入れること。
- 教育現場において市の会議などの模擬体験を取り入れること。
- 表彰など、市民の参加に対して感謝を伝える方法を検討すること。
- 市民委員などの市民参加経験者に体験談を書いてもらうなど、つくば市の市民参加の取組について知ってもらうための方法を検討すること。

◆つくば市行政経営懇談会の協議内容などは、こちらをご覧ください



<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/joho/keiei/1002357.html>



③ 審議会等市民委員の応募者数の増加に向けて

- 会議を担当する市の部署は、会議の目的などに応じて、参加を希望する市民の負担にならないような選考方法を決めること。
- 市の会議への参加を希望する市民の名簿を作るなど、参加を希望する市民の情報を積極的に活用すること。
- 区会や民生委員など、市民にとって身近な地域活動との連携を進めること。
- 会議に参加する市民委員や傍聴する方、ホームページで会議録を読む方などへのわかりやすさを意識し、市民目線で会議運営に取り組むこと。
- 表彰など、市民の参加に対して感謝を伝える方法を検討すること。（前のページの再掲載）
- 市民委員などの市民参加経験者に体験談を書いてもらうなど、つくば市の市民参加の取組について知ってもらうための方法を検討すること。（前のページの再掲載）
- 働いている人も参加しやすくなるような広報などの周知活動に取り組むこと。（前のページの再掲載）